

令和 3 年度 墨田区立二葉小学校 経営報告書

令和 4 年 3 月 1 0 日

学 校 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で作る丈夫な体</li> <li>・自分で取り組む確かな学力</li> <li>・自分で深める温かく強い心</li> <li>・みんなで築く楽しい生活</li> </ul>
目 指 す 学 校 像	<p>○人間尊重の精神に徹し、自己を確立しながら、広く国際社会に生きる人間性豊かな実践力のある児童を育成する。</p> <p>○自分のよさや可能性を認識し、他者を価値ある存在として尊重し、協働しながら持続可能な社会の創り手となる児童を育成する。</p> <p>そのために、次の 4 つを柱にして全教職員が一丸となって活力に満ちた学校づくりをする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 教育目標が児童の日々の生活に目に見える姿として表れている学校</li> <li>(2) 心の通い合う温かさがあり、明るく清潔で安全な教育環境をつくり出す学校</li> <li>(3) 教育機能発揮に向けて、保護者や地域、関係者と連携して児童を育む学校</li> <li>(4) 教育への使命感と責任のもと、協働と研鑽で充実した教育を推進する学校</li> </ol>
目 指 す 子 供 像	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 自分から進んでたくましい体力をつくるとともに、安全に生活する態度を育てる。</li> <li>(2) 自分から進んで学習に取り組み、正しく判断し創造的に解決にあたる態度を育てる。</li> <li>(3) 自他を大切に、思いやりの心を深めながらねばり強くやり遂げる実践的な態度を育てる。</li> <li>(4) 集団の一員としての自覚を深めながら協力して仕事をし、楽しい生活を築く態度を育てる。</li> </ol>
目 指 す 教 師 像	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 教育への使命感と責任をもち、保護者や地域、関係者と連携して児童を育む。</li> <li>(2) 協働と研鑽を重ね、自らの指導力向上に努める。</li> </ol>

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、子供に確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都の推進校として高学年に教科担任制を導入した。効果を高めるために、校内 OJT 等で教員の専門性を一層高めるとともに、指導体制の充実を図る。</li> <li>・今年度実施した墨田区学習状況調査では、ほぼ全観点で全国平均値を上回り、基礎的・基本的な知識・技能が身に付いている。理科については、課題解決的な学習を充実させるなど、改善を図る。一人 1 台タブレット端末の一層効果的な活用を図る。</li> </ul>	A	A
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援巡回教員、スクールカウンセラー、学校支援指導員等と学校が連携し、組織的に指導・支援を行った。支援の専門性を高めるために教員研修等を一層進める。</li> </ul>	B	B
	学校は、子供の将来の自立に向けた進路指導・相談活動に取り組んでいるか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアパスポートの活用や各教科等の学習活動を通して、児童に成長を捉えさせ、自己肯定感を高めることに努めた。継続して自尊感情を高めるために、カリキュラムマネジメントを生かした教育活動を展開する。</li> </ul>	A	A

様式 4

	学校は、教員の指導力・授業力を高めるために組織的に取り組んでいるか。	A	・「学びに向かう力を発揮する児童の育成」をテーマに全教職員で校内研究に取り組んだ。研究内容を一層深め、次年度にその成果を発信する。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	・一人1台タブレット端末などのICT活用をさらに充実させていってほしい。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	学校は、子供の問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	B	・年3回の生活アンケートやいじめ防止に関する授業、人権標語の取組等を実施し、児童の意識が高まるように努めた。早期発見、解決のために、一層組織的に取り組むことができるよう、教科担任制を生かした生活指導体制を整備する。	B	B
	学校は、子供が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。	B	・道徳科の重点指導項目を「善悪の判断、自律、自由と責任」、「親切、思いやり」、「規則の尊重」、「生命の尊重」として継続し、心の教育の充実を図る。あいさつについては地域、家庭と連携して習慣化を図っていく。	B	B
	学校は、子供の安全を確保するための取組を行っているか。	A	・学校の新しい生活様式に基づいて、感染症対策の徹底を図った。学校内外の安全な行動について、毎月の避難訓練や安全指導の充実、環境整備を行い、取組を充実させる。	A	A
	学校は、子供や保護者からの意見や要望を把握し、教育活動の点検や改善に役立っているか。	A	・運動会、音楽会後に、また、12月に学校評価としてアンケートをとり、結果に基づいてよりよい教育活動への改善に努めた。今後も改善を図るためのPDCAサイクルを継続していく。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	・コロナ禍の中、学年間の交流を図ることができる行事や教育活動を工夫していってほしい。 ・ヤングケアラー等の課題について地域と学校が連携していく。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管理運営	学校は、管理職の経営方針に基づき、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。	A	・教職員は学校経営方針に基づき、一人一人が目標を設定し、組織的に学校運営に取り組んだ。教科担任制を更に充実させるために指導体制を整備していく。	A	A
	学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。	A	・1月に学校独自の学力調査を継続して全学年実施し、学力の状況を調査した。生活アンケートやアイ・チェックによる調査も活用し、児童理解に努めた。	A	A
	学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	B	・一人1台タブレット端末の活用を推進した。そのためのICT環境の整備も進めた。 ・次年度以降、児童数増加に伴う校舎改築工事を進めていく。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	・校舎改築工事に伴い、児童の安全の確保、学校行事の運営等を工夫して進めていってほしい。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。	B	・学校連絡メールにおいて新しいシステムを区の方針に沿って進めた。このシステムを一層有効に活用していく。学校の新しい生活様式に合わせた行事や公開の進め方を検討し、学校の教育活動の発信に努める。	B	B
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。	B	・運動会、音楽会等の行事、日常の登下校、学校図書館の運営、学習ボランティア（ぐんぐんのびる二葉タイム）等、多様な場面で地域、保護者、PTAの協力を得て教育活動を進めている。感染症対策のため十分にできない内容があったので、連携の仕方を引き続き検討する。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	・コロナ禍の中での学校の情報発信、保護者・地域との連携の在り方の検討を進めていく。 幼保小中一貫教育の充実、学童クラブとの連携も一層進めていく。			

## 様式 4

### 2 令和3年度学校評価のまとめ

評価結果と感染症対策、校舎改築工事の予定を踏まえて、学校の教育目標実現のためにカリキュラムマネジメントを生かした学校行事等の計画を図るなど、令和4年度の教育課程を編成し実施していく。

更なる学力向上のために、次の取組を充実させる。

- ・教科担任制による指導体制の充実（東京都推進校2年次）
- ・「学びに向かう力を発揮する児童の育成」をテーマとした校内研究の充実（墨田区研究協力校2年次）
- ・一人1台タブレット端末等のICT機器の一層の活用を図る学習指導の工夫

児童相互の望ましい人間関係を作ることやいじめ・不登校等の課題の解決を図るために、教科担任制を生かした複数の教員による連携、スクールカウンセラーや支援員等との連携など、「チーム学校」としての機能を一層発揮していく。

家庭や地域、関係諸機関との連携を一層強めて児童のよりよい成長を目指す。

以上の通り報告いたします。

墨田区立二葉小学校 校長 山 崎 隆

公印